

秋の夜を彩るハロウィンとライトアップ

時代の移り変わりとともに、季節を彩るさまざまな風物詩もゆるやかにその姿、形を変えつつあります。

このコーナーでは多様化する風物詩や行事、また自然の変化についてご紹介します。

今回は日本にも浸透してきたハロウィンと、ご家庭でも手軽に楽しむことができるようになったイルミネーションについてお伝えします。

ハロウィンの上陸とその後

クリスマスやバレンタインデーなど欧米が発祥の伝統行事の中で、近年日本にも浸透してきたのがハロウィンです。このハロウィンとはどのような行事なのでしょう。

キリスト教には万聖節といって、毎年11月1日にあらゆる聖人を記念する祝日があるのですが、ハロウィンとはその前夜祭のことです。季節は秋なので、自然の恵みである収穫を祝い、そして悪霊を追いはらう行事です。

ハロウィンでは仮装した子どもたちが練り歩き、家の窓や扉をたたき "Trick or Treat" と言ってお菓子をねだりますが、これは

祭り用の食料をもらって歩いた農民の様子をまねた中世のなごりです。

ハロウィンを象徴する色は黒とオレンジ。かぼちゃをくり抜き、目・鼻・口をつけた提灯、黒猫、ガイコツ、クモの巣が街のあちこちに飾られます。大人たちもコスチュームパレード、パーティーや教会のお祭りに参加してハロウィンを祝います。

日本では、はじめは外国人学校や外国人が多く住む町などで行われていましたが、やがて英会話教室や学校などがパーティやイベントとして開催するようになったようです。それと同時に海外のテレビや映画を通じてだんだんとハロウィンという行事が知られていったことから商業的なイベントとして開催され

るようになったことなどが定着の背景にあるようです。

ちなみにハロウィンパレードを実施したのは、原宿のおもちゃ店とされ、今でも原宿・表参道界隈は日本のハロウィンイベントの元祖といわれているようです。

ライトアップとイルミネーション

秋には、京都や奈良をはじめ、各地の寺院などでライトアップが行われます。日本で建造物のライトアップが行われたのは1960年代からですが、1980年代の終わり、いわゆるバブル経済のころから都市部を中心にライトアップが増え始めました。ライトアップされた建物やウォーターフロント地区は



人気スポットとして注目を浴びるようになりました。

冬になると、大型商業施設や街路樹でLEDを使ったイルミネーションが夜を彩ります。こうしたライトアップやイルミネーションなどの光のデザインは、秋冬の新しい風物詩として定着してきた感がありますが、近年は家庭でも玄関や窓を飾り、イルミネーションを気軽に楽しむ人が増えてきました。

かつて家庭でのイルミネーションはクリスマスツリーなどに限定されていましたが、装飾の光源が電球からLEDへ変化することによって一気に広まったといえます。電球とLEDを比較すると、消費電力の違いが見られます。LEDは、省エネルギーでありながら、豊かな表現ができることが人気の秘密のようです。

イルミネーションを楽しもう

秋の夜長を楽しむために、暮らしの中にイルミネーションを取り入れてみませんか。

家の中に花を飾るように、季節ごとに灯りを変えたり、間接照明を使用し、雰囲気を変えるなど、暮らしの場面に

合わせて気軽に光を楽しむことがポイントです。イラストを参考に、暮らしの潤いの一つとして、ぜひ工夫してみてください。

家族みんなで協力して イルミネーションを作ってみよう!

1



家族でテーマを話し合って決めましょう。家の写真やイラストを用意して、落書きをしながら思い切った楽しいイメージを考えましょう。

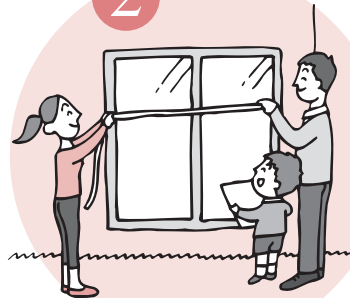
さあ、いよいよカウントダウンから点灯です!家族みんなで記念写真を撮ったり、友達やご近所さん呼んでパーティを開いたりして、イルミネーションをみんなで楽しみましょう。

6



終わった後は片付けです。ライトがからまないよう注意をしたり、絡めた木の枝をいためないように気をつけながら家族で手分けをして片付けていきましょう。

2

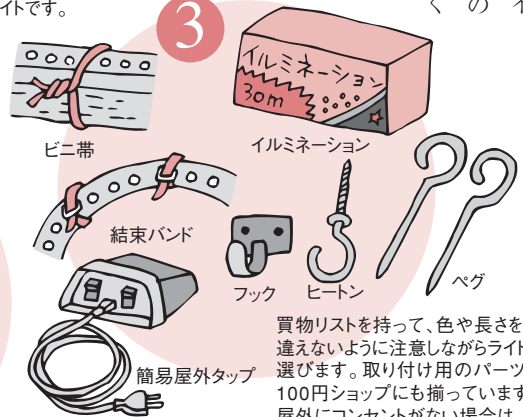


飾るイメージを決めたら、メジャー等を使って場所の長さを測っておきましょう。どんなライトにするかはカタログで選んで、買物リストを作っておきます。おすすめは電気代の節約にもなるLEDライトです。

5



3



買物リストを持って、色や長さを間違えないように注意しながらライトを選びます。取り付け用のパーツは100円ショップにも揃っています。屋外にコンセントがない場合は、簡易屋外タップが便利です。

4



コニファーにライトを巻きつけてツリーを作ったり、フックを使ってゆったりとした曲線を作りながらフェンスに掛けていけば、とてもロマンチックな雰囲気になります。「ストレートライト」「ツララライト」「ネットライト」「モチーフライト」等いろいろな種類のライトを使って、楽しく飾り付けをしましょう。

参考資料:「親子で挑戦!初めてのイルミネーション」アイリスイルミネーションドットコム ホームページ、学研ムック「DIYで楽しむ!イルミネーション入門book」(2007年)「イルミネーション入門ブック 自宅を素敵にライトアップしよう!!」(2004年)学研マーケティングなど